

ゲノム編集技術の利用により得られたGABA高蓄積トマト(#71a-33)の栽培計画書

つくば市長殿

筑波大学では、ゲノム編集技術により得られたGABA高蓄積トマト(#71a-33)に関して、下記の通り試験栽培を実施いたします。

1. 実施主体

- **機関名:** 国立大学法人 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター
- **責任者:** 教授 三浦謙治
- **連絡先:** 電話番号:029-853-6401
Email: miura.kenji.ga@u.tsukuba.ac.jp

2. 対象作物および特性

- **作物の種類:** トマト(黄色ミニトマト品種)
- **改変した形質:** GABA の高蓄積化
- **利用した技術:** ゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)

3. 栽培の目的・概要

本試験は、ゲノム編集技術により作出された新規 GABA 高蓄積トマト系統の実用化に向け、栽培特性を評価することを目的とします。試験では、実際の生産現場に即したビニールハウス等の施設内で当該系統を育成し、果実成分の分析、収量調査、採種等を行います。

4. 安全性に関する情報の届出状況

本件については、以下の通り国への届出および確認が完了しており、従来の品種改良産物と同様に取り扱うことが認められています。

- **農林水産省**
遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(カルタヘナ法)における「遺伝子組換え生物等」に該当しないことの確認
【確認年月日: 2025年9月12日】
- **消費者庁**
食品衛生法に基づく安全性確認
【確認年月日: 2025年9月8日】
- **消費者庁**

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律に基づく安全性確認

【確認年月日：2025年9月12日】

4. 栽培計画の概要

- **栽培場所:** 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター内ほ場(温室)
- **栽培面積:** 約 300 m²
- **栽培期間:** 2026年3月1日 ~ 2029年3月31日(予定)
- **栽培方法:** 施設栽培

5. 管理および周知方法

- **栽培管理:** 本系統は遺伝子組換え生物等には該当しないため、通常のトマトと同様の栽培管理を行います。
- **情報提供:** 本系統は既にゲノム編集技術応用食品として農林水産省および消費者庁への届出を完了しており、関連情報は各省庁のホームページ等を通じて公開されています。必要に応じてこれら公的な公開情報を紹介することで、正確かつ客観的な情報提供に努めます。